



米工 MAKERS

米工通信 第62号
令和3年10月29日
鳥取県立米子工業高等学校
担当者名：桑名伸一郎

「読書の秋」という言葉は、「秋は過ごしやすい気候で、ゆっくり読書ができる季節」という意味です。今回は、W1(情報電子科1年)が4~9月の『米工図書貸出総冊数 No.1』ということで、生徒の声をを入れてお届けします。



読書の秋



ズバリ! 桑名おすすめの1冊!!

伊坂幸太郎「チルドレン」

とても読みやすくハマりますよ♪

今回 W1 が貸出数 1 位と言うことで読書の魅力とおすすめの本について紹介していきたいと思います。小学校の頃から小説はたくさん読んでいました。そのおかげか様々な文字・漢字にふれ、どんどん難しい本が読めるようになりました。本は知識そのものだと思います。皆さんにももっと本を読んでほしいです。おすすめの本は、『Re:ゼロから始める異世界生活』です。この本は突如異世界に召喚され「死に戻り」という能力のもと、未来を変えて行くナツキ・スバルという少年と数人のヒロインによってストーリーが構成されています。運命にあらがう主人公達を見てみて下さい。

By Y

本を読みはじめたのは小学校3年生のときでシャーロック・ホームズを最初に読みました。読書の魅力は一人一人違うと思うけど、僕は本を読むのがおもしろいから読んでいます。みんなゲームが好きだと思いますが、それと同じで、じゃあ何で好きなのかってなるとおもしろいから好きです。僕にとって読書はゲームのような物です。僕のおすすめの本は、住野よる先生の『また同じ夢を見ていた』です。住野よる先生と言えば「君の膵臓をたべたい」で有名な方です。ぜひ読んでみてください。

By M

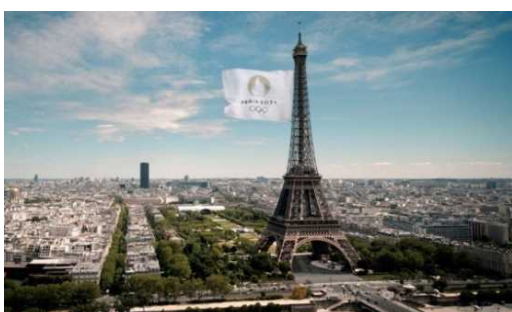
本を読み始めたきっかけは、小3あたりで確か昼休みにすることがなかったからという理由でした。読書の魅力は、ちょっとした時間でも楽しめる事だと思います。シリーズ物を少しずつ見たり、時間を探して一気に読んでしまうこともあったりします。おすすめの本は、正直、人の好みが出るのですが、私は数学が好きなので『浜村渚の計算ノート』を今学校にある分だけ4~5周くらいします。私は週で借りる本の数を決めています。水曜に実習があるので月曜に2冊、火曜に3冊、木曜に2冊、金曜に長めの本3冊を借りて土日を使って読んでいます。米工図書館は工業関係の本が多いですが、その中にもおもしろそうな本はあって工業関係じゃない本も多いので時間をみつけて探してみるといいと思います。時間がない時は友達や先生にオススメの本を聞いてみたりするのもいいと思います。あと、米工の図書館は本当に静かで、落ち着きたい時に来てみるのもいいかもしれません。私は今、中学校の時よりも少し遅いペースで読んでいますが、その頃は貸出冊数が学年で4位、全校でギリギリ TOP10に入るくらいだったので、米工は本を全然借りてない人が多いと思います。せつかく科目ごとの勉強になる本があるのに少しもったいない気がします。本の好みは人によって違います。人と話す時に本好きつながりで友達になった時もあったので、自分の好きな本を1冊でも見つけてみることをオススメします。

By I

BREAK TIME 「TOKYO 2020」~次のオリンピックはいつ?どこで?~

今年の夏は東京オリンピック・パラリンピックに全米(全米子)が熱くなりましたね。2020年に開催予定だった東京オリンピック。1年延期となり2021年の今年、賛否両論ありましたが開催され、終わってみると感動の嵐でした。では次のオリンピックはいつ?どこで?みなさん、ご存じですか?

答えは2024年「花の都・パリ(英語で書くとPARIS)」。いつもなら4年後ですが、次は3年後。たくさんの競技がフランス国内様々な場所がありますが、驚くはビーチバレー。



場所はなんと「エッフェル塔の下」! 外部から砂を運び込んで会場を作り競技が行われるという。

ちなみに今年の東京オリンピックのビーチバレーも、潮風公園(お台場海浜公園に隣接)に基準を満たしたベトナムの砂を持ち込んでコートを作った仮設競技場で行われました。もはや「ビーチ」バレーではないですね!